



2020 年 4 月 27 日

「TSUBASAアライアンス」への琉球銀行の参加について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）ほか「TSUBASAアライアンス」参加行[※]は、2020 年 4 月 27 日（月）、
「TSUBASAアライアンス」に琉球銀行（頭取 川上 康）が新たに参加することに合意しました。

「TSUBASAアライアンス」では、2015 年 10 月の発足以来、フィンテックや事務・システムの共同化、相続関連業務、国際業務、グループ会社の活用など、幅広い分野で協業してきたほか、マネロン・テロ資金供与対策の高度化に向けた取組みにおいても連携を開始しています。

今回、琉球銀行が加わったことにより、北海道から沖縄まで全国を網羅するネットワークが形成されます。新型コロナウイルス感染拡大の影響が広がるなか、地域のお客さまのご相談に迅速に対応するため、各行の知見や情報を共有していくとともに、戦略的なアライアンスを一層加速することで付加価値の高い金融サービスを提供してまいります。

<TSUBASAアライアンス概要>

沿 革	2015 年 10 月	千葉銀行、第四銀行、中国銀行の 3 行で発足
	2016 年 3 月	伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行が参加
	2016 年 7 月	共同出資により T & I イノベーションセンターを設立
	2018 年 4 月	北越銀行が参加
		「TSUBASA F i n T e c h 共通基盤」の提供開始
	2019 年 3 月	武蔵野銀行が参加
	2019 年 5 月	滋賀銀行が参加
	2020 年 4 月	琉球銀行が参加
連 携 目 的	○地域の持続的な成長や金融システムの高度化、参加行グループの企業価値の増大に資する連携施策の立案・推進	
	○参加行のトップライン増強、コスト削減に寄与する施策の立案・推進	

※千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行の
9 行。

以 上